



勝北新春ミニマラソン大会

寒さに負けない勝北っ子

1月17日 勝北総合スポーツ公園発着

第30回を迎えた勝北新春ミニマラソン大会。220人の参加者は、ファミリー、小中学生、一般など6つのクラスに分かれ、2kmと3kmのコースで健脚を競いました。

沿道では、最後まで諦めないでゴールを目指す子どもたちに温かい声援と拍手が送られ、厳しい冷え込みの中、心温まる光景も見られました。

また、併せて新春ウォークも行われ、参加者にとっては「走り・歩き初め」となりました。



津山市文化協会 押阪忍文化講演会

日本語の美しさ伝えよう

1月30日 ベルフォーレ津山

今秋開催されるおかやま国民文化祭のイベントとして、岡山県民謡民舞連盟による新庄田植唄と作州追分の演奏の後、津山市出身のフリーアナウンサー・押阪忍さんによる講演会が開催されました。

押阪さんは若者の言葉の乱れを指摘し、美しい日本語やその土地に伝わる方言を文化として継承していくことの大切さを約600人の聴衆に語り掛けました。また、後半のクイズでは客席を巡り、会場を沸かせていました。

凧づくりと凧あげ大会

見てみて! ほら、あがったよ!

2月7日 グリーンヒルズ津山

グリーンヒルズ津山友の会の皆さんによる恒例の凧づくりと凧あげ大会。春を感じる穏やかな日差しの中、グリーンヒルズ津山の芝生広場に子どもたちの歓声が響き渡りました。

4歳になる憲くんを連れて参加した末澤未代さん(宮部上)は「凧作りは難しいかなと思っていましたが、意外とシンプルな作り。実際に飛ばしながら微調整をしています。子どもって何かを引っ張りながら走るのが好きでしょう。すごく楽しんでますよ」と、お母さん自身も一緒に楽しんでいる様子。

元気よく走り回る子どもたちに交って、完全に童心に返っているお父さんも…。大人だって夢中になる凧あげ。とても微笑ましい、心に残るひとときでした。



津山市小・中学校教育美術展

個性あふれる作品ずらり

2月19~22日 文化展示ホール

40年以上の歴史を持つ津山市小・中学校教育美術展は、市内の児童・生徒が授業で制作した作品を展示し、日頃の学習の成果を市民の皆さんに見てもらおうと毎年開催されています。

会場に展示された約1,150点の作品は、どれも見ごたえのあるすばらしい作品ばかり。会場を訪れた人たちは、子どもらしい発想の工作や繊細な色使いの絵、力強い版画など、一点一点の作品をじっくりと鑑賞していました。



川崎八出線(天神橋) 開通式

新しい天神橋が完成

2月9日 天神橋

市街地東部地区と吉井川南岸地区(八出)とを結ぶ天神橋。大正末期に架けられた旧天神橋に替わり、新しい天神橋(延長304メートル、幅員10.25メートル)が完成しました。

式典とテープカットの後、福岡保育園の園児による鼓笛隊を先頭に、橋の渡り初めが行われました。

親子三世代で渡り初めをすると縁起が良いとのいわれもあるようで、家族で参加する地元の人々の姿が多く見られました。

学校給食試食会

いつも残さず食べてるよ

1月28日 西小学校

学校給食週間(1月24~30日)に合わせ、市と県の教育関係者などが子どもたちと一緒に給食を食べながら懇談しました。

この日は1960年代の昔懐かしい献立を再現。コッペパン、牛乳、鯨のオーロラソースかけ、添え野菜、白菜スープをいただきながら「おいしいね」「よくかんで食べようね」「残さずに食べてるよ」と会話を楽しみながら子どもたちの様子を聞き、学校給食についての理解を深めました。



久米地域新春ロードレース大会

体も心もほっかぽか

1月17日 久米体育館前発着

今年で31回目となった久米地域新春ロードレース大会。当日は天候に恵まれ、約160名のランナーが久米体育館前をスタートし、中北下、宮部上・下地区を走り抜けました。

参加者たちは沿道からたくさんの声援を受け、気持ちのよい汗を流しました。

走り終わった後は、津山市婦人協議会の皆さんが作ってくれたうどんに舌鼓。体も心も温まった一日となりました。